

特集「堆肥化推進事業」の開始式

開催日：平成20年7月10日（木）10時より
 場所：精華町北稲八間鳥取54-1 堆肥場
 参列者：船越理事長
 精華町長、議会議長、精華町衛生課長
 京都府シルバー人材センター連合会会長等
 会員：赤松班長、他8名
 事務局：浅田事務局長、山本

堆肥作業場に堆肥化できない太い枝材や竹材を処理するために炭焼き窯を会員の手で建設いたしました。

使用に先立ち武内神社の田中茂宮司による安全祈願のお払いを受けたあと赤松班長による火入れ式を行いました。



赤松班長による炭焼き窯への火入れ式

かけがえのない地球環境を守るために

堆肥化推進事業の発足にあたり、お礼とお願いを申し上げます。

草刈りや剪定作業で発生する草や枝葉をごみ焼却場で処理することなく、堆肥として自然に返すことは、準備期間からのセンターの願いの一つでした。

このために、精華町に遊休地の貸与をお願いした結果、地元北稲八間地区の同意を得て、同地区鳥取54-1の町有地に六千平方メートルの活動拠点を確保しました。

平成17年4月の社団法人への移行を待って、さっそく拠点に堆肥マスを設置、専門家を招いて技術者の養成を始めました。副産物として発生したカブトムシを子育て支援の行事で子供らにプレゼントする一方、講習の過程で製作した堆肥を袋詰めにして、精華町最大のイベント「せいかわ祭り」で来場者に無料配布し、大好評を博しました。

しかし、事業化に踏み切るまでには至らず、前後して実施した先進地視察で事業化に伴う問題点を学びました。

今回、事業化に踏み切ったのは、地球温暖化の一因である二酸化炭素の発生を抑えて地球環境を守ろうという世界的な運動に微力ながら参加したいという気持ちと、20年度から始まった国の「企画提案方式」による補助金交付でした。

しかし、その背後には精華町を始め北稲八間地区、国など、多くの関係者のご理解とご協力があつたことはいまでもありません。皆々様のご厚意に改めて感謝申し上げます。

かけがえのない地球環境を守るために、この堆肥化推進事業を通じて貢献していくことがセンターの願いであります。皆様方の更なるご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。（理事長あいさつより）



安全を祈念して黙とう



堆肥化事業に携わる会員の面々



細い枝や竹材の粉碎(チップ)作業